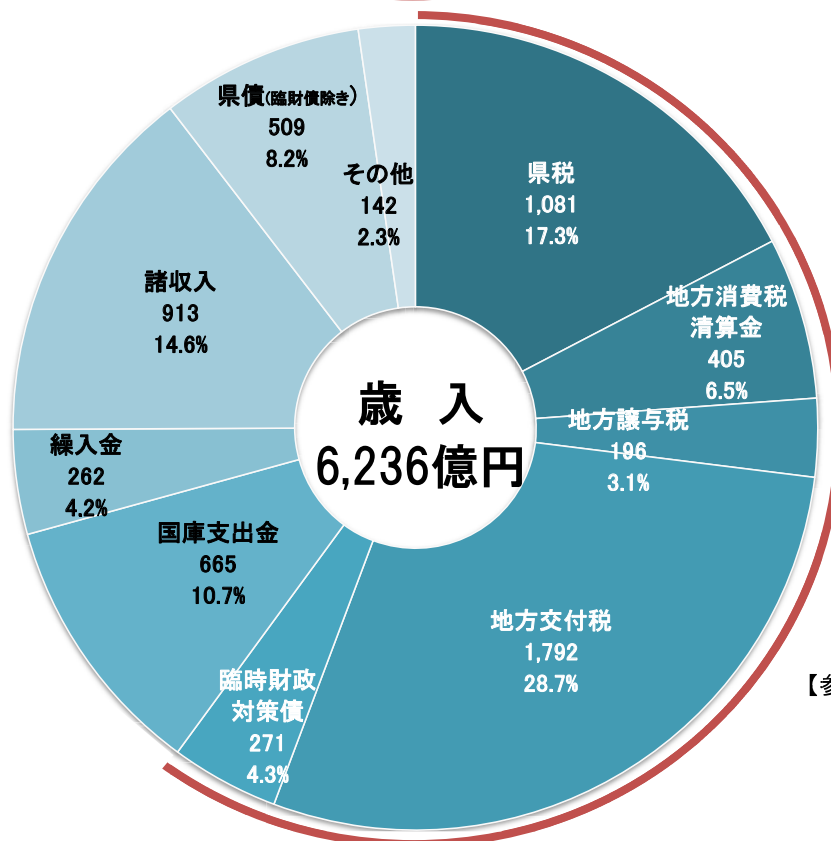
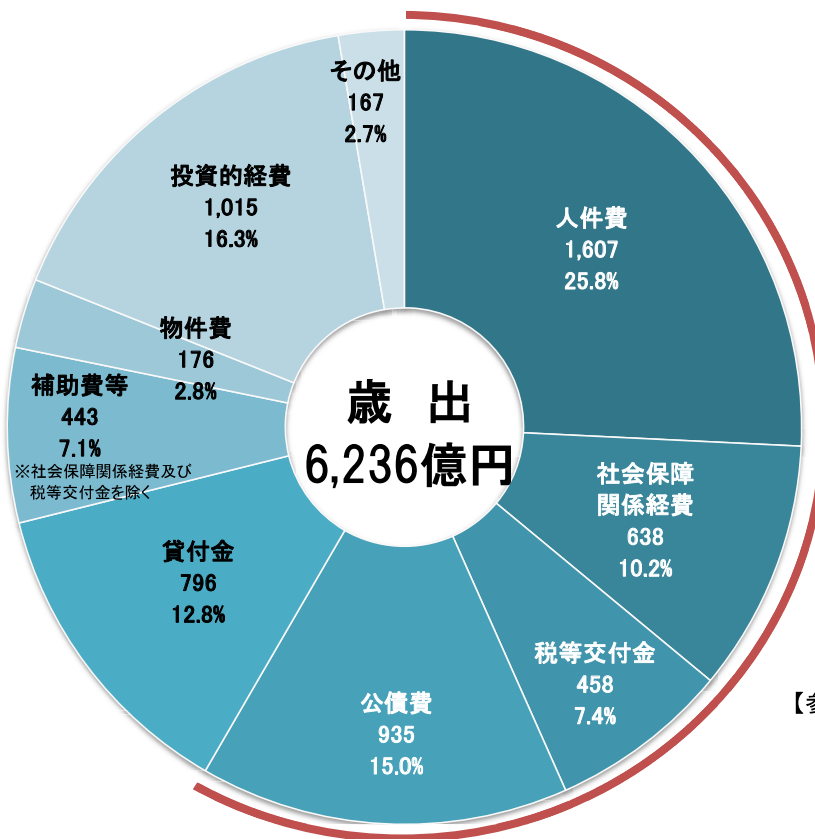


山形県財政の状況

平成28年7月
総務部

1 平成28年度山形県一般会計当初予算の構成

(単位：億円)

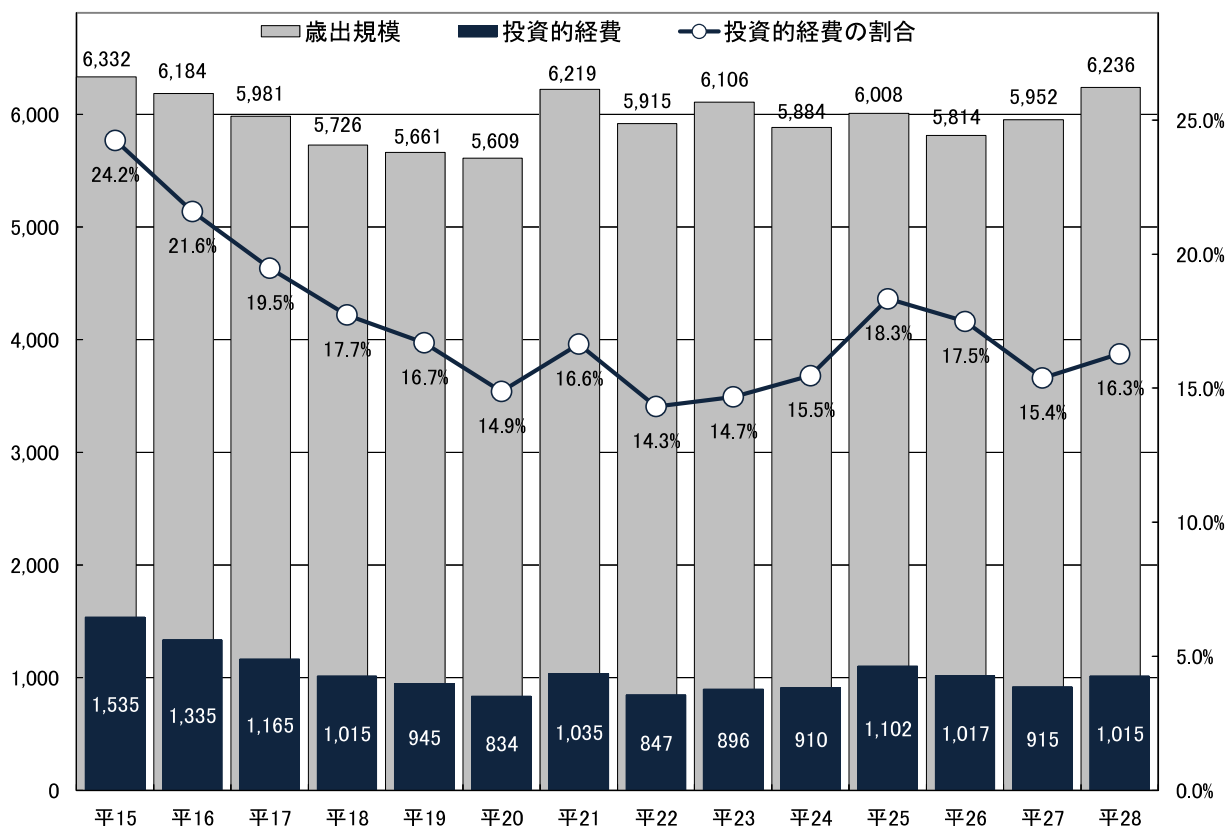


※ 端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合があります。

2 歳出予算規模及び投資的経費の推移

(平成26年度までは決算、平成27年度は3月専決後予算、平成28年度は当初予算)

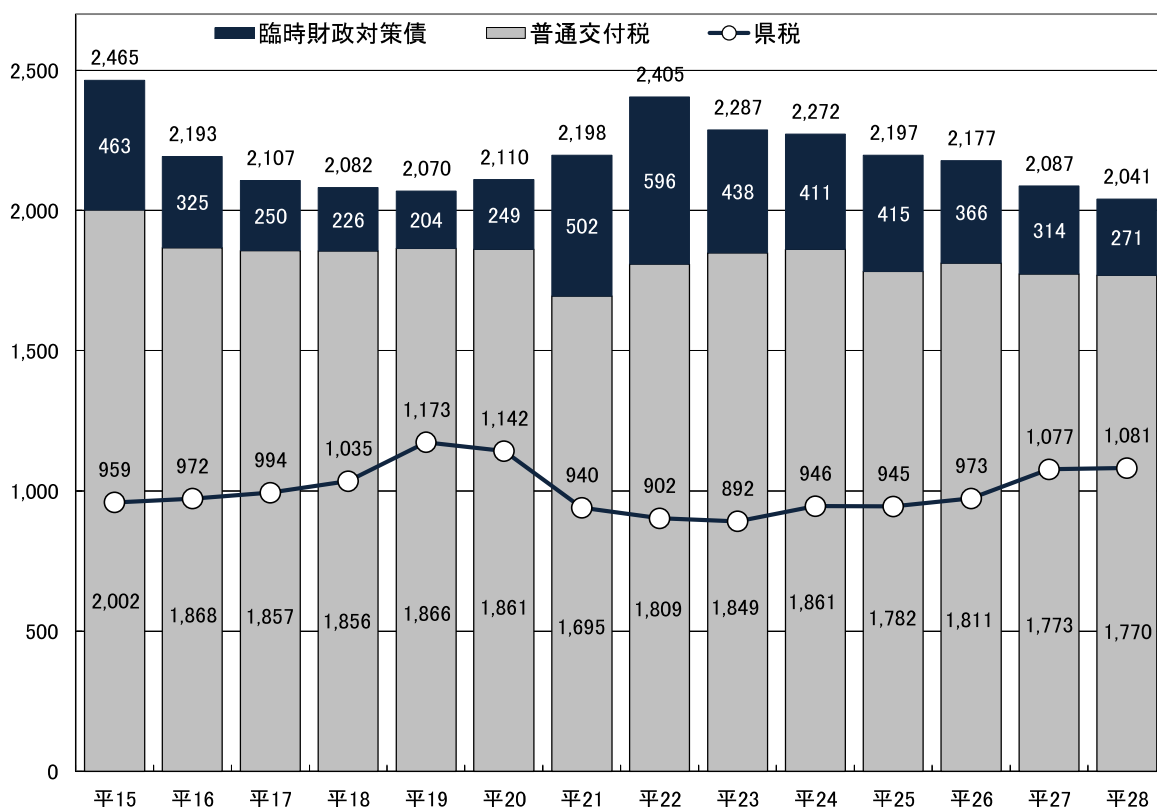
(単位：億円)



3 普通交付税(＋臨時財政対策債)及び県税の推移

(平成26年度までは決算、平成27年度は3月専決後予算、平成28年度は当初予算)

(単位：億円)



4 財政収支見通しを踏まえた本県の対応（山形県財政の中期展望より）

持続可能な財政運営を確保するためには、歳入・歳出の両面から財源不足額の解消に向けた対応策を講じ、調整基金取崩しの抑制に努めることが必要です。

- 歳入面では、県有財産の売却や有効活用の促進、基金や特別会計の利用見込みのない資金の活用、財源対策のための県債の発行等によって歳入を確保します。
- 歳出面では、事務事業の見直し・改善や行政経費の節減・効率化など、徹底した歳出の見直しを行います。

⇒ 自由度の高い財政構造への転換

◀ 財源不足額への対応（当面の数値目標） ▶

（単位：億円）

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
財 源 不 足 額 (A)		△208	△153	△153	△150	△159
歳 入	県有財産の売却、有効活用	3	3	3	3	3
	基金、特別会計資金の有効活用	25	48	35	27	27
	財源対策のための県債発行	69	82	75	60	49
	計 (B)	97	133	113	90	79
歳 出	事務事業の見直し・改善 行政経費の節減・効率化	22	20	(20)	(20)	(20)
	計 (C)	22	20	40	60	80
合 計 (D=B+C)		119	153	153	150	159

対 策 後 の 調 整 基 金 残 高	205	205	205	205	205
---------------------	-----	-----	-----	-----	-----

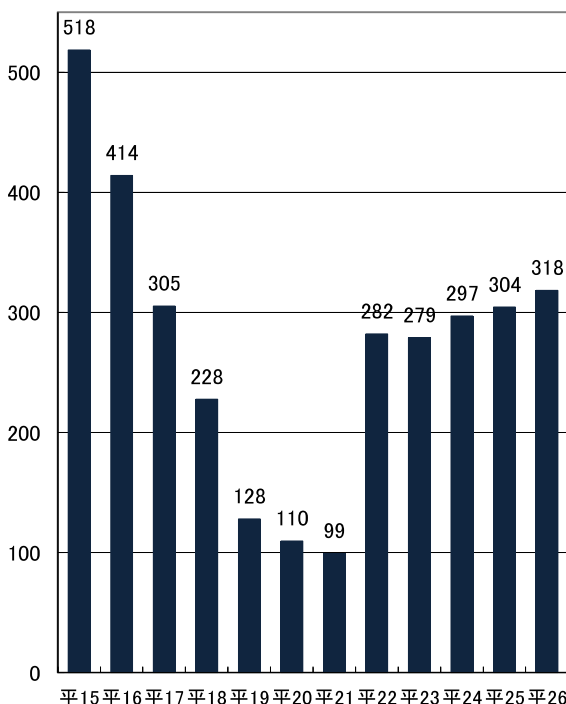
注1：「事務事業の見直し・改善、行政経費の節減・効率化」の括弧書きは当該年度の新規削減額である。
注2：歳入については、現行制度をもとに試算している。

5 中長期的な財政健全化目標

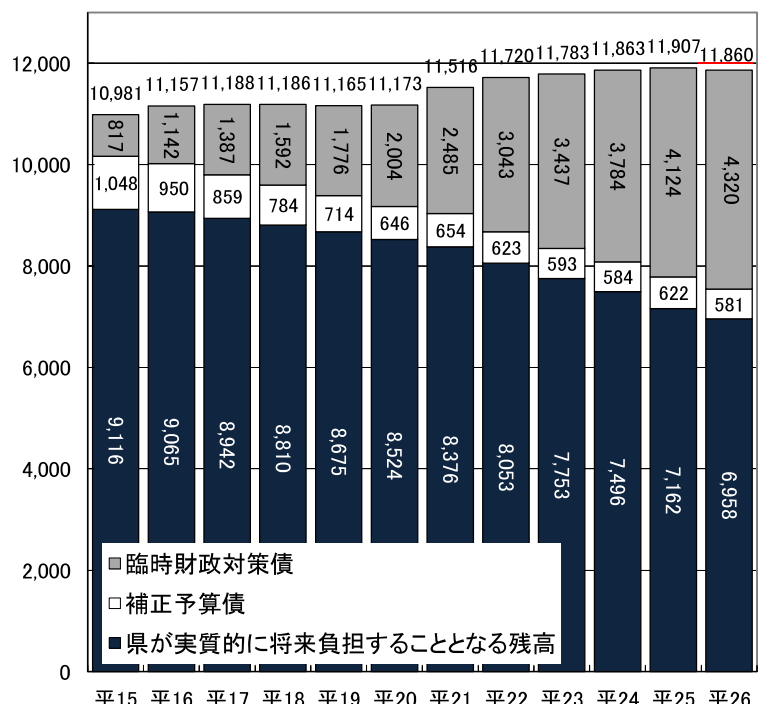
（単位：億円）

健全な財政運営を行っていくために、調整基金の取崩しの抑制に努めるとともに、中長期的な財政健全化目標として、「臨時財政対策債と補正予算債を除いた県債残高の減少」を目指します。

◀ 調整基金残高の推移（年度末決算） ▶



◀ 県債残高の推移（年度末決算） ▶



注：調整基金残高は、財政調整基金及び県債管理基金（一般分）の残高の合計を記載している。